

粉雪の八甲田

1987. 1.30 ~ 2.2

メンバー：島田隆一ほか友人3名

高嶺会のメンバーの1人に八甲田党がいて、毎年冬春城ヶ倉温泉をベースに通っている。今年も深雪を楽しみに行くと言っているので少し遠いが同行する=とじた。

1/30 (金) 曇り。急行八甲田で青森駅着。バスの接続が悪いためタクシーでロープウェイ駅まで行き、先行2名及びガイドと合流。ゲレンデで3回滑る。足馴らして、ガイド氏が「我々の足前を見る目的らしい。午後 ダイレクトコース、フォレストコース各1回滑る。ロープウェイ頂上 -10°C 、風速 20m/s 、小雪 視界余り良くない。昨日は八甲田でも雨とかで「雪は意外と重い。しかしガイド氏が気配りかせて多少コースを外れて滑ってくれるので「まあまあ新雪滑りが楽しめる。(スピーカーは繰返し本日コースは、ダイレクトコース、フォレストと叫んでいる。原則的にはこの季節このコース以外は滑降禁止となっているようだ。) 今日初日なのでこれ位で切上げる。中スリ滑ってもノサイクル/時間程度なので、頑張ればもつと滑れる筈だ。夜から雪となり気温は下る。明日の新雪滑りが楽しみだ。

1/31 (土) 頂上 -14°C 、時々青空が見える。

今日もゲレンデで新雪滑りの後、ロープウェイに乗る。休日の為三沢からの米兵も多い。話好きが居て、安比も行つたとか、千葉まで忍術を習いに行くとか色々話掛けしてくる。彼等もそれなりに日本での生活をエンジョイしている様だ。

AMダイレクトコース1本。PMモツユ沢コースに入る。月隼上位の新雪、粉雪で最高の滑りが楽しめた。全然抵抗がなくスキーは自由自在に回転する。しかも全く音もなく静かなものだ。一同これには感激。カネダの粉雪の楽しみもわかるというものだ。最後は城ヶ倉コースを取り直接温泉に帰る。途中平坦な毛無谷を歩いてあと一滑りで温泉だ。

2/1(日) 頂上 -16°C, NN20m/s 吹雪

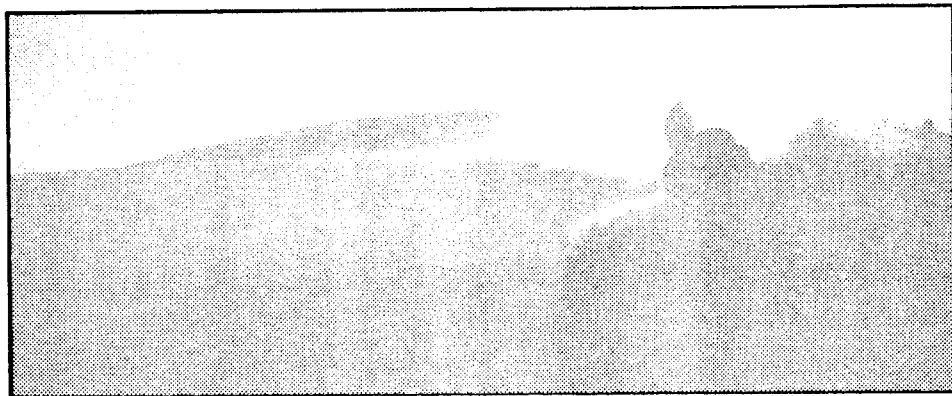
ダイレクトコース, フォレストコース 各1本滑る。ゴグルが凍って難儀する。ダイレクトコースは今日はゲレンデ並みに荒れている。しかし新雪が低いので雪質はとても良い。昨日手で給湯管の故障とあって、寒い一瞬でひっそり湯に浸ったものだが今日は本来の温泉に降り降り温泉気分を楽しむ。

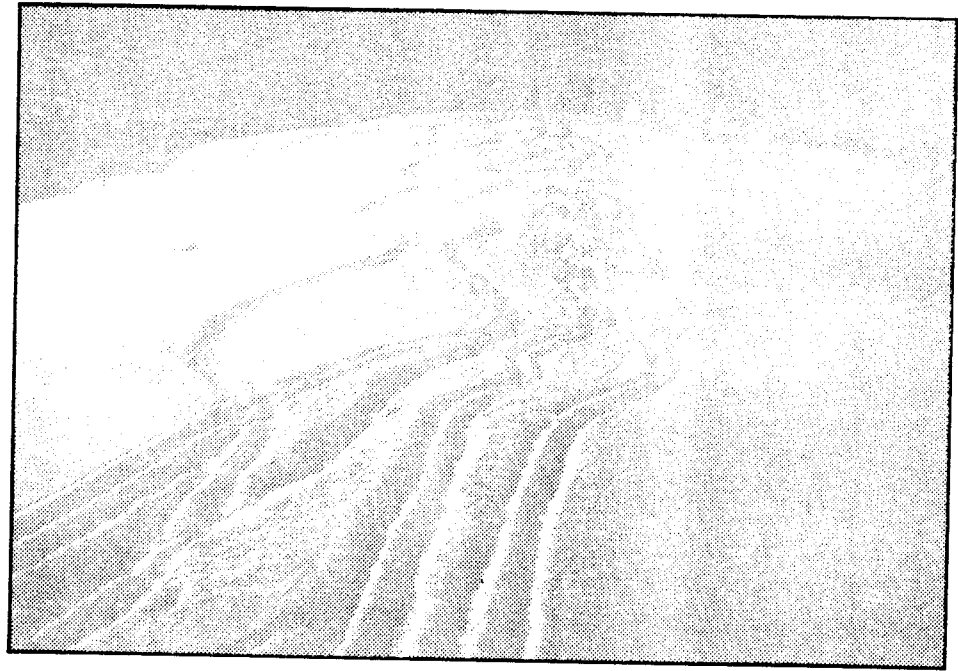
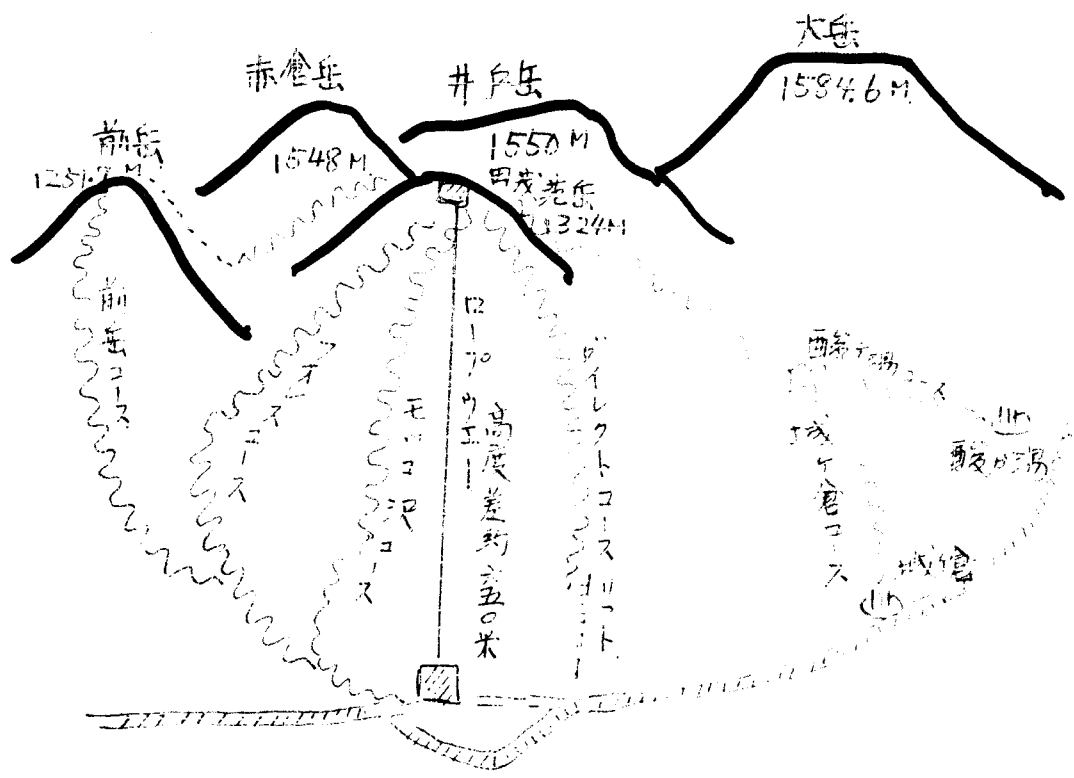
2/2(月) AM 無風快晴, PM 曇り, 頂上 -8°C, S3m/s

待望の快晴となり、本日は前岳へのミニカーを試みる。因我前岳頂上からゆるい斜面を快適に滑り前岳とのコルに下る。この辺りのモンスターは美事だ。振り返ると我々5人のシニアが新雪に鮮やかに刻まれている。シールを利かせて1時間弱で頂上着。風が無いのでのんびり昼食。八甲田最後の展望を楽しむ。南八甲田から先木山まで一望だ。さて待望の滑降に移る。腰手で滑る新雪を蹴散らして無木立の大斜面をスピッドで楽しむ。今日軽い粉雪で最高の滑りが楽しめた。下は樹林帯で傾斜がゆるむと間もなくフォレストコースに合流する。最後にダイレクトコース1本滑って今日の八甲田行を締めくくる。温泉一浴後宿の車で青森駅へ。駅前の寿司屋で乾杯後、再び八甲田号で上野に向ふ。(例年2/5~26頃大岳循環コースのホールド打ちをやるので、この時期なら必ず大岳まで行けるとの事だ。)

(島田隆一記)

費用概算: 周遊券 4,500, ロープウェイ 3,600 (5回) x 2, 残りの永久使用可, クレジット 4,600, 城ヶ倉温泉1泊2食 6,000 x 3, ガイド料 2,000 (但し1泊の4,000)





—ジュプール— 田茂老岳